

## AWS 安心サンドボックス サインイン説明資料

### 目次

1. はじめに	1
2. サインイン方法	1
3. 初回サインイン時の注意点	3
4. お問い合わせについて	4
5. サービス概要	11

## 1. はじめに

本資料では、Amazon Web Services（以下、AWS）を学習目的で利用可能なサービス「AWS 安心サンドボックス」をご利用いただくにあたっての基本的な情報とサインイン手順を紹介します。

## 2. サインイン方法

AWS 安心サンドボックスを用いて AWS を利用するためには、予め配布されたメールアドレスとパスワードを使用して専用ページにサインインする必要があります。下記の手順に沿ってサインインしてください。

なお、研修で利用するにあたっては、「**2 要素認証（MFA 認証）**」でのサインインは行いません。必ず下記の手順に沿って操作してください。

※「2 要素認証」でサインインする場合、メールアドレスとパスワードによる認証が終わった後に、専用のスマートフォンアプリから自動発行される番号を入力してサインインする必要があります。

1. 配布されたメールアドレスとパスワードを確認する。
2. AWS 安心サンドボックスのサインインページにアクセスする。

<https://sandbox.shared.jp/auth/signIn>

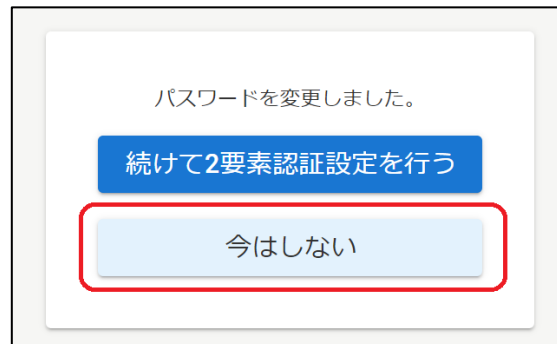
3. サインインページの「E メールアドレス」欄に**配布されたメールアドレス**を、「パスワード」欄に「**P@ssw0rd1**」と入力して「サインイン」ボタンを押す。  
※初期パスワードは全ユーザー共通で「P@ssw0rd1」となります。



4. 「パスワード」欄に新しいパスワードを入力して、「変更」ボタンを押す。  
※パスワードは半角の大文字英字、小文字英字、数字、記号を組み合わせた 8 文字以上の内容で指定してください。



5. 2要素認証の設定を行うかを問う画面が表示されたら「今はしない」ボタンを押す。



6. AWS 安心サンドボックスのホーム画面が表示されたことを確認する。



上図の画面が表示されたら、AWS 安心サンドボックスの

7. サインイン後、AWS を利用したい場合はホーム画面左下の「AWS コンソールへ接続」ボタンを押す。



### 3. 初回サインイン時の注意点

#### 1. 2 要素認証の解除方法

「3. サインイン方法」の手順 5 にて「続けて 2 要素認証設定を行う」を選択された場合、2 要素認証設定が必要となります。もし設定に失敗してしまうと対象のアカウントでのサインインができない状態となります。その場合は、**アカウントの初期化**が必要となります。

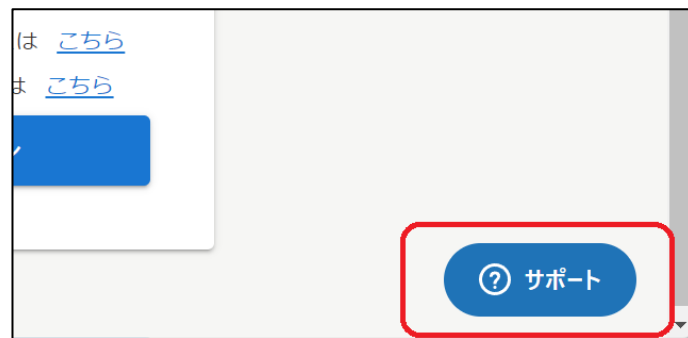
アカウントを初期化する際には別章「お問合せについて」の内容にしたがって、AWS 安心サンドボックスのヘルプデスクにてお問合せください。

## 4. お問い合わせについて

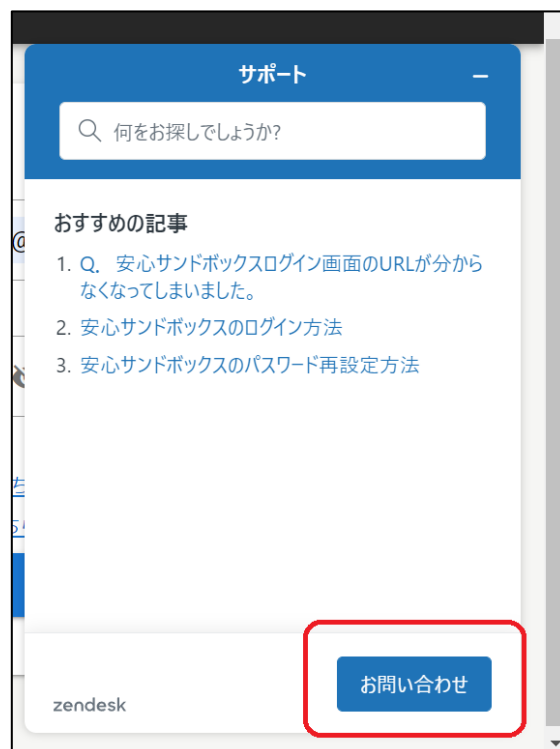
下記のような理由で AWS 安心サンドボックスへのサインインができなくなった場合は以下の手順に沿ってヘルプデスクにお問い合わせください。

- ・ サインインするためのパスワードを忘れてしまった。
- ・ 2 要素認証の設定に失敗してしまった。

1. サインイン画面右下の「ヘルプ」ボタンを押す。



2. 「サポート画面」が表示されたら、画面右下の「お問い合わせ」ボタンを押す。



3. お問い合わせ画面が表示されたら、以下の項目を入力する。

**名前**：アカウント利用者の氏名

**メールアドレス**：お問い合わせの回答メールを受け取るためのメールアドレス

※**お手元の携帯電話で確認できるメールアドレス**を入力してください。

※配布された AWS 安心サンドボックスアカウントのメールアドレスは入力しないでください。このメールアドレスでは回答メールを受け取れません。

**メッセージを入力してください。:**

下記のいずれかの内容をテキストファイルにコピーして、下線部を書き換えてください。  
書き換えた内容を当該入力欄に貼り付けてください。

[パスワードを忘れてしまった場合]

件名：新人研修用サンドボックスアカウントのパスワードリセットのご依頼

担当者様

お世話になっております。

AWS 安心サンドボックスのパスワードリセットをお願いしたく、以下に必要事項を記載いたします。

ご査収ください。

パスワードリセット対象のサンドボックスメールアドレス：

配布された AWS 安心サンドボックスのメールアドレス

お手数ではございますが、よろしくお願いいたします。

[2 要素認証の設定に失敗してしまった場合]

件名：新人研修用サンドボックスアカウントの 2 要素認証リセットのご依頼

担当者様

お世話になっております。

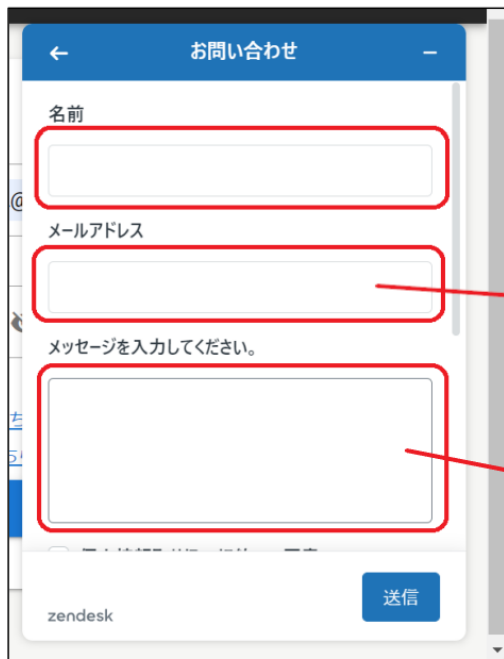
AWS 安心サンドボックスの 2 要素認証の設定に失敗してサインインできなくなりました。

そのため、アカウントの初期化をお願いしたく、以下に必要事項を記載いたします。  
ご査収ください。

初期化対象のサンドボックスメールアドレス：

**配布された AWS 安心サンドボックスのメールアドレス**

お手数ではございますが、よろしくお願いいたします。



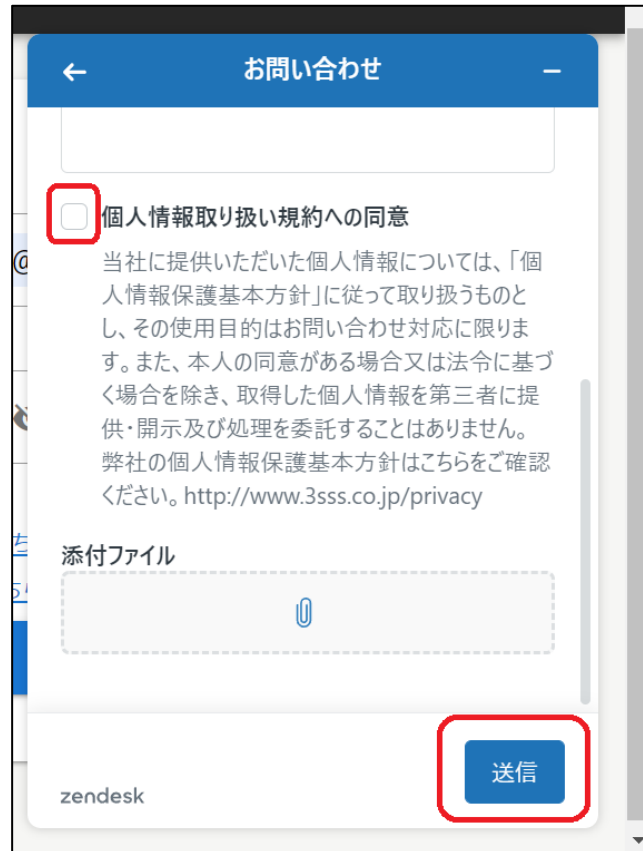
お手元の携帯電話で確認できる  
メールアドレスを入力してください。

[パスワードを忘れてしまった場合]または  
[2要素認証の設定に失敗してしまった  
場合]のメッセージをコピーし、  
下線部を書き換えてください。

お問い合わせの項目を入力したら下記内容を再確認してください。

- ・ メールアドレス欄には**お手元の携帯電話で確認できるメールアドレス**を記入している。
- ・ メッセージの下線部を**配布された AWS 安心サンドボックスのメールアドレス**に書き換えている。

4. お問い合わせ画面を下にスクロールして、「個人情報取り扱い規約への同意」にチェックを入れて、「送信」ボタンを押す。



5. 送信が完了したら、所属会場の講師に問合せを行なった旨を報告する。

※「回答メール」が届くまでは、AWS を操作しないかたちで聴講してください。

パスワード、または 2 要素認証がリセットされて、回答メールが届くまでにおよそ 10～15 分程度お時間を頂戴いたします。ご不便をお掛けしますがご了承ください。



6. 手順 3 の「メールアドレス」欄に入力したメールアドレス宛に、下記の差出人からお問い合わせ受付完了した旨の「自動返信メール」が届いたことを確認する。

差出人：東京 IT スクール クラウド事務局 ([support@3sss.zendesk.com](mailto:support@3sss.zendesk.com))

#### 自動返信メール記載例

※このメールはシステムからの自動返信です

〇〇様

この度は、お問い合わせくださいまして、  
誠にありがとうございます。

サポートチケット #XXXX にて受付いたしました。  
送信いただきました内容を確認の上、  
担当者より二営業日以内にご連絡差し上げます。

もし追加のご質問などがございましたら、本メールへご返信または、  
以下のメール宛先までご一報くださいませ。

以上、よろしくお願い致します。

もし自動返信メールが届かなかった場合は、手順 3 の「メールアドレス」欄に入力したメールアドレスが誤っている可能性がございます。その場合は、再度手順 3 までの操作を行なって再送信してください。

7. 手順 3 の「メールアドレス」欄に入力したメールアドレス宛に、下記の差出人から「回答メール」が届いたことを確認する。

差出人：東京 IT スクール クラウド事務局 ([support@3sss.zendesk.com](mailto:support@3sss.zendesk.com))

件名：

[パスワードを忘れてしまった場合]

新人研修用サンドボックスアカウントのパスワードリセットのご依頼

[2 要素認証の設定に失敗してしまった場合]

新人研修用サンドボックスアカウントの 2 要素認証リセットのご依頼

回答メール記載例（パスワードを忘れてしまった場合）

お待たせいたしました。

パスワードリセットが完了いたしましたので、お知らせ致します。

お手数ではございますが、以下の初期パスワードにて  
再度初回ログイン設定をお願いいたします。

-----  
■ログイン情報

- ・メールアドレス : ○○○○○○@3sss.co.jp（配布されたメールアドレス）
  - ・初期パスワード : ○○○○○○
  - ・ログイン URL : <https://sandbox.shared.jp/auth/signIn>
- 

回答メール記載例（2 要素認証の設定に失敗してしまった場合）

お待たせいたしました。

MFA リセットが完了いたしましたので、お知らせ致します。

お手数ではございますが、以下の初期パスワードにて  
再度初回ログイン設定をお願いいたします。

-----  
■ログイン情報

- ・メールアドレス : ○○○○○○@3sss.co.jp（配布されたメールアドレス）
  - ・仮パスワード : ○○○○○○
  - ・ログイン URL : <https://sandbox.shared.jp/auth/signIn>
-

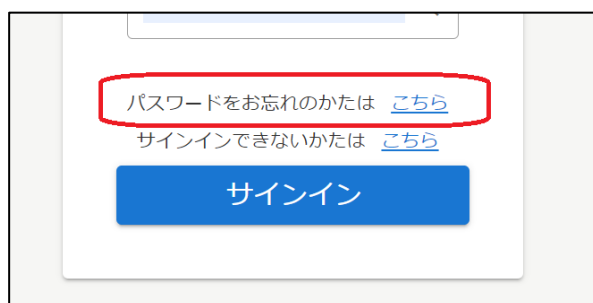
8. 回答メールに記載されているメールアドレスとパスワードを使用して、再度 AWS 安心サンドボックスのサインイン画面からサインインを行う。

以上の流れに沿って、お問い合わせください。

### パスワード初期化のお問合せに関する注意点

新人研修でご利用いただく AWS 安心サンドボックスのアカウントには、研修運営側で予め用意したメールアドレスを使用しております。

そのため、サインイン画面中央の「パスワードをお忘れのかたはこちら」というリンク先にアクセスしてアカウントのメールアドレスを入力されても、パスワード初期化のご案内メールは受講生様のお手元で確認できません（東京 IT スクールの運営の方にメールが届きます）。



そのため、パスワードを忘れてしまっても、サインイン画面中央のリンクからパスワードの初期化は行わず、前述の手順の通り、画面右下の「**サポート**」ボタンからお問い合わせください。

## 5. サービス概要

### 2. サービス自動停止機能

夜間でのサービス過剰利用を防止するため、講師・受講者用のアカウントで作成された EC2、RDS、AutoScaling は毎日 18:00、20:00、24:00 に自動で停止されます。

### 3. サービス利用制限

AWS 安心サンドボックスは基本的なサービスの学習を目的としており、AWS の利用に対する制限がございます。利用できるリージョン、サービスの範囲の制限、およびサービスごとの利用制限がございますので、ご了承ください。

#### 利用できるリージョン

東京、北部バージニアリージョンのみ利用可能

#### 利用できるサービス

IAM、VPC、EC2、EBS、RDS、S3、  
AutoScaling、Route53、KMS、CloudFront、ELB、  
APIGateway、Cognito、Dynamodb、CloudWatch、  
CostExplorer、Lambda、ECS、ECR

#### サービスごとの利用制限

基本：

RI、SavingPlan の購入できません。

EC2：

「t2.micro」以外のインスタンスタイプは作成できません。

EBS：

ストレージサイズの上限は 8GB までです。

RDS：

- ・ db.t3.small 以外の DB クラスは作成できません。
- ・ ストレージサイズの上限は 20GB までです。
- ・ マルチ AZ 構成は構築できません。

AutoScaling：

最大 1 台までしか AutoScaling することができません。

VPC：

- ・ ElasticIP は作成できません。
- ・ NatGateway は作成できません。

Route53 :  
ドメイン取得はできません。